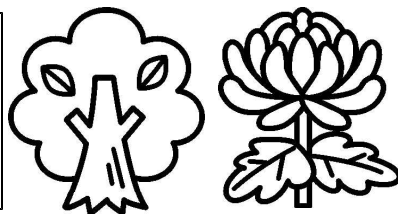


清純・愛郷



「基礎力・思考力・実践力をもち、磨き合って自立に向かう生徒の育成」

～ 元気な生徒 元気な先生 元気な学校 ～ 令和元年11月11日(月)

◇丹波篠山市立西紀中学校 ◇丹波篠山市宮田175 ◇tel 593-0032 ◇fax 593-0041

NO13

本日よりオープンスクール実施！～15日

11月11日(月)～15日(金)の期間は、オープンスクール(学校開放)を実施いたします。学校施設・授業・生徒や教職員の様子を見て頂き、更なる保護者や地域住民の方々の参画と協働を得ながら魅力ある学校づくりを進めていくため、忌憚のないご意見をお願いしたいと考えております。短時間でも結構ですので、お気軽にご訪問ください。尚、オープンスクール期間中の学校行事等は、次の通りです。

- 趣 旨 学校が地域の信頼にこたえ、保護者や地域住民等の参画と協働を得て、地域に開かれた学校づくり、魅力ある学校づくりを推進するため、学校施設や授業をはじめ、学校の様々な教育活動をありのままに地域住民に公開する。
- 公開期日 令和元年11月11日(月)～15日(金) 8:30～16:30
- 主な学校行事等
 - 11日(月) 全校朝会 職員会議 校内美化コンクール ～15日
 - 12日(火) PTA 人権講演会(5～6校時)
講師 筒崎真美 先生〔NIT 情報技術推進ネットワーク〕
 - 13日(水) 3年生実力テスト(5教科)
 - 14日(木) 読み聞かせ(朝) 家庭学習の日(部活動なし)
 - 15日(金) 人権擁護委員による人権教室(5～6校時)
15:20～「四つの力委員会」 15:50～「第2回学校運営協議会」
- その他 (1)来校の際は、生徒玄関入口にて手続きをお願いします。
(2)参観後、アンケートへのご協力をお願い致します。



自己評価・自尊感情を高めること！？

7～8年前になりますが、国連の OECD が各国の高校生に対して、自己評価に関する国際的なアンケートを実施しました。そのアンケートには、「自分は価値のある人間だと思いますか?」「自分自身に満足していますか?」「自分は優秀だと思いますか?」等の設問がありました。

結果は歴然でした。欧米各国は、この自己評価に関する数値が75%を超えているのに対して、日本の高校生の数値は40%程度でした。つまり、日本の高校生の自己評価が極端に低い、自分の能力に否定的である。10人のうち6人は、自分自身に満足していない、自分自身に不安で否定的であるという結果が出ているのです。この「自己評価」こそが「自尊感情」なのです。自尊感情が、豊かな心の源であり、様々な活動の意欲につながっていくことは言うまでもありません。何故、日本の高校生(中学生・小学生も含め)の自己評価・自尊感情が低いのでしょうか。

これと言った決定的な原因があるわけではありません。いろいろな要因が重なり合っていることは確かです。また、日本人の国民性、つまり、謙虚で控えめで、人前であからさまに自己を表現しない・・・ということも、数値を下げている一因であることは確かです。しかし、これだけで片付けてしまう問題でもないようです。日本の社会のしくみや人々の価値観が大きく変化していく中で、次の2点は原因として、今後考えていく必要があるのではないのでしょうか。

1つ目は、小学校の頃からの「実体験」「成就感・達成感の経験」が乏しいということなのです。つまり、様々なことを体験し、みんなで苦労して、やり遂げた充実感や満足感を得た経験が少ないのです。だから、自分自身のことがよくわかっていない、自分に自信が持てないのです。これらが、自分自身への不安や将来への不安へとつながり、自尊感情の低下を招いているようです。

2つ目は、子どもたちの「社会的自立」「社会性の育成」に問題が生じてきていることです。自分の将来を考え、様々な集団の中で生活し、たくさんの人と活動を共にすることで社会性が育成され、自立を促してきました。つまり、自立や社会性の育成と自尊感情の高まりとは非常に関係が深いのです。しかし、家庭や地域の結びつきや教育力の低下、学校教育において意図的・計画的に社会性を育成していくシステムが整っていない、フリーターやニートに象徴されるように経済的にも社会的にも無理に自立を求めない社会状況等の理由も、結局は自分に対する自信のなさや不安につながってきていると考えられるのです。

本校におきましても、生徒の意欲と自信（やってみようかな・・・！ やれば出来るんだ！）、たくさんの人と交流が出来、何事にもチャレンジできる体験的な学習を大切にしています。保護者の皆様、たとえ小さなことや当たり前のことでも、「頑張っていること」「出来たこと」を認めてやる、評価してやることは、実はとても大切なことなのです。この評価こそが、意欲や自信につながっていくのです。

市長さん！ようこそ西紀中学校へ

10/30（水）、酒井市長が西紀中学校を訪問。4校時に、3年生を対象に「丹波篠山学」についての授業をして頂きました。市政のしくみ、丹波篠山市の現状と課題、財政面の問題と対応、丹波篠山市のイベント、市名変更等々、内容的にも非常に充実した1時間となりました。また、本校の3年生の話聞く態度と集中力には、非常に感心されていました！



第3回ジュニアボランティア

11/3（日）に、本年度3回目のジュニアボランティアが開催。本校より約20名の生徒が参加して地域貢献活動に取り組みました。午前中は、西紀サービスエリア（上り・下り）において、赤い羽根の募金活動。ハッピー姿で「募金をお願いします」との大きな声に、たくさんの募金が集まりました。午後は、西紀支所周辺とつつみ峠に分かれての環境美化活動。貴重な体験をお世話になっています、学校運営協議会及び関係機関の皆様へ感謝申し上げます。



頑張りました！募金活動！

市中学校音楽弁論大会に参加しました！

11/7（木）、田園交響ホールで、市中学校・特別支援学校の音弁大会が開催され、本校からも、3年生両クラス、吹奏楽部、代表弁士が出演して、練習の成果を存分に発揮しました。

午前の部は弁論大会。本校からも校内弁論大会で選ばれた、3年生の塚本すみれさんが「本質を見つめて」、1年生の田中大翔さんが「大事な思い出」を力強く発表してくれました。午後の部は、音楽大会。各校の合唱と吹奏楽部の演奏。本校からも、3年A組が「HEIWAの鐘」、3年B組が「予感」を力強く歌い上げ、吹奏楽部も素敵な演奏を披露してくれました。吹奏楽部の3年生にとっては、最後のステージ。中学生の素晴らしさを実感し、さわやかな気分と元気をいっぱい頂いた1日となりました。吹奏楽部3年生ラストステージ

